

## 2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年7月31日

上場会社名 株式会社樹籾崎屋 上場取引所 東  
コード番号 2926 URL http://www.shinozakiya.com/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 雅之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営 企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実 TEL 048-970-4949  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期第3四半期の業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	2,177	3.8	36	-	39	-	22	△37.4
2023年9月期第3四半期	2,096	△5.2	△21	-	△19	-	35	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	1.56	-
2023年9月期第3四半期	2.49	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,533	1,061	69.2
2023年9月期	1,440	1,039	72.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 1,061百万円 2023年9月期 1,039百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2024年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当につきましては業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

## 3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	14,436,600株	2023年9月期	14,436,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	278,800株	2023年9月期	278,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	14,157,800株	2023年9月期3Q	14,157,800株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当第3四半期累計期間において、商品につきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」を強化し、物価高騰の今後の対策として、顧客数の確保を第一に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間の売上高は2,177,037千円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は36,800千円（前年同四半期は営業損失21,827千円）、経常利益は39,515千円（前年同四半期は経常損失19,317千円）、四半期純利益は22,092千円（前年同四半期比37.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (小売事業)

当セグメントにおいては「よりいいものをより安く」をコンセプトに「三代目茂蔵」ブランドのクオリティ向上を推し進めております。当第3四半期累計期間におきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」の開発強化をすすめ健康ブランド向上に努めました。具体的には弁当類・菓子類等を中心に店頭商品を最重要商品と位置づけ顧客数向上に努めてまいりました。

これらにより1店舗平均の顧客数は前年同四半期比105.1%、顧客単価は価格見直し等もあり、同108.6%となりました。

店舗につきましては、リモート会議にて販売スタッフとの情報共有を徹底することにより1店舗あたりの生産性向上を目指しました。

以上の結果、小売事業の売上高は1,943,643千円（前年同四半期比6.4%増）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、顧客数の増減を慎重に判断しながら販売価格を見直した結果、売上総利益率が改善したことにより137,893千円（前年同四半期比111.6%増）となりました。

#### (その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は233,394千円（前年同四半期比13.8%減）、セグメント利益（営業利益）は11,987千円（前年同四半期比41.5%減）となりました。

なお、当第3四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第3四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	31	—	1	30
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	387	30	19	398
合計		418	30	20	428

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して92,342千円増加し1,533,100千円となりました。主な要因は、長期未収入金が28,206千円減少したものの、現金及び預金が99,256千円、売掛金及び契約資産が3,834千円、商品及び製品が17,100千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して70,249千円増加し471,960千円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が16,875千円、未払法人税等が3,260千円減少したものの買掛金が89,386千円、未払費用が966千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して22,092千円増加し1,061,139千円となりました。これは四半期純利益22,092千円の計上により利益剰余金が22,092千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。

なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	626,478	725,734
売掛金及び契約資産	66,546	70,380
商品及び製品	31,734	48,834
原材料及び貯蔵品	3,165	3,085
その他	66,748	69,964
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	794,632	917,960
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	26,539	24,395
構築物(純額)	3,285	2,936
工具、器具及び備品(純額)	4,787	6,200
土地	189,970	189,970
その他(純額)	2,621	1,791
有形固定資産合計	227,204	225,294
無形固定資産	3,996	3,114
投資その他の資産		
敷金及び保証金	104,525	104,538
長期未収入金	310,266	282,060
その他	429	429
貸倒引当金	△297	△297
投資その他の資産合計	414,923	386,730
固定資産合計	646,125	615,139
資産合計	1,440,757	1,533,100
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	237,364	326,751
1年内返済予定の長期借入金	18,750	1,875
未払金	83,258	83,218
未払費用	34,466	35,433
未払法人税等	20,924	17,664
その他	4,245	4,317
流動負債合計	399,010	469,260
固定負債		
長期預り保証金	2,700	2,700
固定負債合計	2,700	2,700
負債合計	401,710	471,960
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,446	120,446
利益剰余金	△40,503	△18,411
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,039,046	1,061,139
純資産合計	1,039,046	1,061,139
負債純資産合計	1,440,757	1,533,100

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,096,932	2,177,037
売上原価	1,512,553	1,549,469
売上総利益	584,379	627,568
販売費及び一般管理費	606,207	590,767
営業利益又は営業損失(△)	△21,827	36,800
営業外収益		
受取利息	2,581	3,139
受取賃貸料	7,125	7,186
その他	15	25
営業外収益合計	9,722	10,351
営業外費用		
支払利息	160	56
賃貸費用	7,048	7,069
その他	4	510
営業外費用合計	7,213	7,636
経常利益又は経常損失(△)	△19,317	39,515
特別利益		
固定資産売却益	82,449	29
特別利益合計	82,449	29
特別損失		
減損損失	3,307	1,011
固定資産除却損	109	755
店舗閉鎖損失	7,136	2,277
特別損失合計	10,554	4,044
税引前四半期純利益	52,576	35,501
法人税、住民税及び事業税	17,268	13,408
法人税等合計	17,268	13,408
四半期純利益	35,308	22,092

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費及びその他の償却費	11,911千円	6,728千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,826,208	270,724	2,096,932	—	2,096,932
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,826,208	270,724	2,096,932	—	2,096,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,826,208	270,724	2,096,932	—	2,096,932
セグメント損益	65,173	20,475	85,649	△107,477	△21,827

(注) 1. セグメント損益の調整額△107,477千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、3,307千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,943,643	233,394	2,177,037	—	2,177,037
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,943,643	233,394	2,177,037	—	2,177,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,943,643	233,394	2,177,037	—	2,177,037
セグメント損益	137,893	11,987	149,880	△113,080	36,800

(注) 1. セグメント損益の調整額△113,080千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、1,011千円の減損損失を計上しております。